

利益相反（COI）開示に関して

学術大会での発表にあたり、筆頭演者は、共同演者を含むすべての演者について、発表内容に関連する企業・団体からの利益に関して、以下の基準にのっとり、開示を行う必要があります。

COIに係る開示項目	
1. 報酬	1つの企業、組織等から年間 100 万円以上
2. 株式	1つの企業、組織等から年間 100 万円以上の利益、あるいは当該株式の 5%以上の保有
3. 特許使用料	1つにつき年間 100 万円以上
4. 講演料	1つの企業、組織等から年間 50 万円以上
5. 原稿料	1つの企業、組織等から年間 50 万円以上
6. 研究費・助成金	1つの企業、組織や団体から研究経費を共有する所属部局（講座、研究室等）に支払われた総額が年間 200 万円以上
7. 奨学（奨励）寄付	1つの企業、組織や団体から奨学寄付金を共有する所属部局（講座、研究室等）に支払われた総額が年間 200 万円以上
8. 企業などが提供する寄付講座	企業などからの寄付講座に所属している場合に記載
9. 旅費、贈答品などの受領	1つの企業、組織や団体から年間 5 万円以上

開示例（口頭発表）：スライド冒頭に挿入してください。

利益相反「なし」の場合

**第34回日本舌側矯正歯科学会 学術大会
COI 開示**

筆頭発表者氏名： ●●●● ●●●● ●●●●

演題発表に関連し、発表者全員について
開示すべき COI 関係にある企業等はありません。

利益相反「あり」の場合

**第34回日本舌側矯正歯科学会 学術大会
COI 開示**

筆頭発表者： ●●●● ●●●●

演題発表に関連し、発表者全員を対象開示すべきCOI関係にある企業などとして

①顧問：	x x x x x 株式会社
②株保有・利益：	x x x x x 株式会社
③特許使用料：	x x x x x 株式会社
④講演料：	x x x x x 株式会社
⑤原稿料：	x x x x x 株式会社
⑥受託研究・共同研究費：	x x x x x 株式会社
⑦奨学寄付金：	x x x x x 株式会社
⑧寄付講座所属：	x x x x x 株式会社
⑨贈答品などの報酬：	x x x x x 株式会社

開示例（学術展示）：ポスター掲示の最後にCOI状態を開示ください。

演題発表に関連し、発表者全員について開示すべき COI 関係にある企業等はありません。

全発表者のCOI(利益相反)開示

①顧問：	x x x x x 株式会社
②株保有・利益：	x x x x x 株式会社
③特許使用料：	x x x x x 株式会社
④講演料：	x x x x x 株式会社
⑤原稿料：	x x x x x 株式会社
⑥受託研究・共同研究費：	x x x x x 株式会社
⑦奨学寄付金：	x x x x x 株式会社
⑧寄付講座所属：	x x x x x 株式会社
⑨贈答品などの報酬：	x x x x x 株式会社